

2023年度

ニチキッズさっぽろ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年12月28日（水）～2024年1月11日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し、自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化して改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	職員同士の連携を大切に考え、「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」の理念に基づいた保育を行うことに努めてきた。次年度は更に話し合いの場を多く持ち、密に意見を交わすことで保育の充実が図れるようにしていきたい。
子どもの発達援助	園内だけでなく地域の各関係機関とも連携し、子どもたちのために何ができるのか意見交換しながら進めることができた。また、子ども一人一人に応じた関わりに配慮することはもちろん、面談等を通じ、子どもたちの成長について保護者と情報共有することにも努めた。
保護者に対する支援	送迎時に保護者と挨拶を交わし、声をかけやすい雰囲気を作るところから始めた。各家庭から育児に関する質問や相談があった際は、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、子育てを楽しいと感じてもらえるような援助を心がけた。
保育を支える組織的基盤	一日の保育の流れ・保育環境・異年齢保育の持ち方などについて、職員間でいろいろと模索しながらの一年だった。子どもたちにとって最善の保育内容や保育環境とは何か、今後もそれを常に考えながら、保育スキルの向上と園内の情報の共有化を目指していく。

総評
<p>保育の基盤の一つとして「職員同士の情報の共有化」が大切と考え、各種会議や短時間のミーティングを定例化し、全職員が同じところに向かって保育そのほかの業務にあたることを心に留めてきた。今後、職員一人一人の自主性と保育の質の向上に繋げることを目標に、園内研修の実施、社内研修・社外研修への積極的な参加も実行していく。</p> <p>次年度は更に職員が一つとなり、目の前の子どもたち一人一人に真摯に向き合い、丁寧で細やかな保育を展開していけるよう、保育園全体で自己研鑽を続けることに注力する。</p>